

Jump 井坂しんや

E-mail CQW23040@nifty.ne.jp
ブログ <http://isaka.icpweb.jp/>

米軍基地の現状と問題

沖縄県・宜野湾市などを視察

11月11日から13日の2泊3日で日本共産党県議団として沖縄県を視察しました。

1日目の沖縄県庁では、①子どもの実態調査と貧困対策について、②米軍基地問題として、他国の地位協定調査、辺野古新基地建設などについて調査。

2日目は午前中に北谷町で米軍基地の跡地利用について、午後ほうるま市で原子力軍艦の寄港状況と原子力災害対策について、そして夕方には辺野古新基地建設の現地を見学。

3日目の午前、宜野湾市で普天間飛行場の返還に向けた取り組みなどについて、午後は、米軍ヘリの部品が落下した緑ヶ丘保育園などでした。

普天間基地の早期返還を！

現在、沖縄では、国が多くの県民の意志を無視して辺野古新基地建設を進めています。

県の担当者との話では、とりわけ国が県との協議をしないまま埋め立てを進めていることに対して、行政の手続きも無視するとはひどいと憤りをあらわにしていました。



住宅街の真ん中にある普天間基地と待機しているオスプレイ

普天間基地は、宜野湾市の真ん中に位置し、まさに住宅密集地にあります。世界で一番危険な飛行場と言われるのが高台から見れば一目瞭然です。

この基地を早期に返還、撤去して安心して住みたいというのが住民の切実な願いです。

しかし、だからと言って基地を辺野古に移すことに賛成をしていません。

住民の意思を尊重してこそ

2019年2月24日に行われた「辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票」では、宜野湾市の投票結果は、投票率51.81%。埋立賛成9,643票。埋立反対26,439票。どちらでもない3,500票となっています。

宜野湾市の基地対策課の話でも市民の中では複雑な気持ちがあると話されていました。国は宜野湾市民のこの複雑な思いの中で選択した意思を尊重すべきです。

神奈川県には同じように住宅密集地に厚木基地があり、空母艦載機などの爆音で多くの方が被害を受けています。

普天間基地の問題は決して他人事ではないと改めて感じました。

ヘリの部品落下と保護者の思い

宜野湾市役所を訪れた後、米軍ヘリの部品が落下した緑ヶ丘保育園で当時の様子と保護者のみなさんの切実な思いを聞かせていただきました。

2017年12月7日の10時過ぎに米軍ヘリの部品が普天間基地から300mにある緑ヶ丘保育園に落下しました。

この部品はヘリのプロペラの根元に備え付けられている放射性物質ストロンチウム90のカバー

ですが、米軍はこの部品が米軍ヘリのものと認めながら、飛行中のヘリから落下した可能性は低いとして落下を認めていません。

保育園の保護者は「事故の真相究明」と「保育園の上空の飛行禁止」を求めて13万筆以上の署名集めました。



宜野湾市や沖縄県の他、上京して外務省、防衛省にも要望書を提出しました。ヘリの部品が落下した屋根を見ている様子

その時の様子を映像で見させてもらいましたが、お母さんたちの子どもを思う必死な気持ちがひしひしと伝わるもので、涙がこみ上げるものでした。「こんな思いをいつまでしなければいけないのか！」

我が物顔の米軍と米軍に従属的な日本政府の姿勢を改めさせなければいけないと強く感じました。

原潜寄港地のホワイトビーチ

2日目には原子力潜水艦が寄港するホワイトビーチがあるうるま市を視察しました。

うるま市は、沖縄県の中部に位置し、平成17年に具志川市・石川市・勝連町・与那城町が合併してできました。

原潜が寄港するホワイトビーチは勝連半島の先端部にあります。



ホワイトビーチは米海軍と米陸軍の2つの栈橋がありますが、米海軍の栈橋は、米第7艦隊の兵站支援などで使用されています。

また、原子力艦船が補給などのために寄港しますが、ほとんどの場合、沖合で数時間の停泊で接岸することはあまりないとのこと。

担当課に話を聞いたところ放射能のモニタリン

グなどは県が行っていること。

また、放射能事故が起こった場合の屋内退避の範囲には約100世帯があるとのことですが、避難訓練やヨウ素剤の配布訓練などは行っておらず、今後の課題として挙がっているとのことでした。

うるま市の状況は、沖合停泊で数時間ということで住民にはわかりにくい面があるからだと思いますが、この状況を視察して、私は、改めて横須賀の米海軍基地の位置づけの重要性を感じるとともに原子力空母の母港として年間約300日の停泊、原子力艦船の修理機能を持っていることがいかに異常な状況なのかを感じさせられました。



米艦船が接岸する米海軍栈橋

第3回定例会の後半が開会

11月25日から県議会第3回定例会の後半が始まりました。

今回の議会では、台風19号の被害対応に関する補正予算などが審議されます。

議会の日程は以下の通りです。ぜひ、傍聴してください。また、インターネットでも中継されていますので視聴をよろしくお願いいたします。

第3回定例会後半の主な日程

11/25(月) 議会運営委員会	10時半～
本会議 知事提案説明	13時～
11/28, 29, 12/2	
本会議 代表質問	13時～
12/4, 5 本会議 一般質問	10時半～
12/9(月)、総務政策、防災警察	10時半～
国際文化観光・スポーツ、環境農政	
12/10(火) 厚生、産業労働、建設・企業、文教	10時半～
12/11(水) 特別委員会	10時半～
12/12(木) 特別委員会	10時半～
12/13(金) 全常任委員会	10時半～
12/17(火) 議会運営委員会	10時半～
12/18(水) 議会運営委員会	10時半～
本会議 議案の採決	13時～

※ 日程はすべて予定です。詳しくは議会局まで。